

5.8 H地域(湊地区)

(1)地域の現状と課題

①日常生活の利便性及び居住環境向上

H地域は、本市の東側、日本で4番目に大きい猪苗代湖に接する地域で、農地、集落地、丘陵地から構成されています。

集落地は国道294号の沿道に形成されており、中心市街地から離れているため、日常生活の利便性及び居住環境の向上が求められています。

②自然環境の保全

丘陵地の山並みや木々の緑、猪苗代湖、国指定の天然記念物の赤井谷地沼野植物群など、特徴ある豊かな自然に恵まれています。こうした自然が魅力となって、四季を通じて多くの方が訪れます。

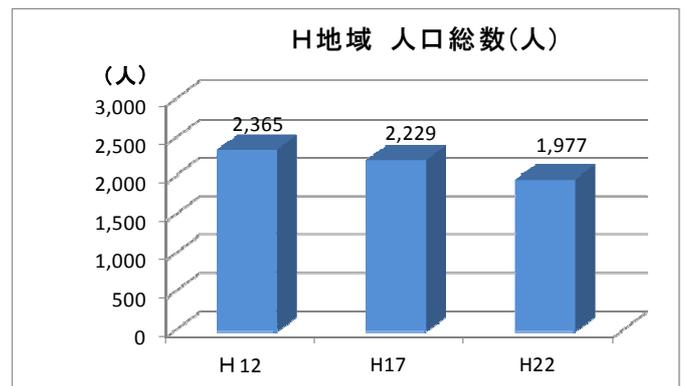
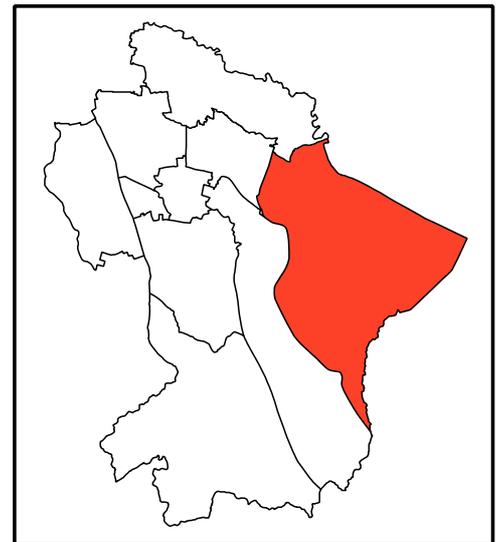
今後も、地域だけでなく、本市の貴重な財産として豊かな自然環境の保全を図るとともに、適切に利用していくことが求められています。

③田園風景の保全

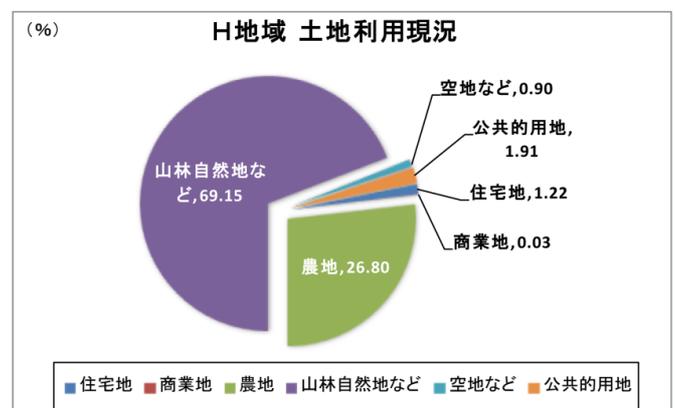
湖畔の丘陵地に囲まれた農地に集落が点在する里山的な田園風景は、地域の原風景となっています。

後継者問題等の農業を取り巻く環境の変化から、耕作放棄地等が見られるようになっていきます。

地域をイメージする田園風景を次世代に引き継いでいくため、適切な管理方策等により、農地と山並み、湖水景観が調和した美しい田園風景の保全を図ることが求められています。



出典：国勢調査



出典：都市計画基礎調査

(2)地区別懇談会での意見

H地域は「湊地区」から構成され、地区別懇談会では以下のご意見・ご提案をいただきました。

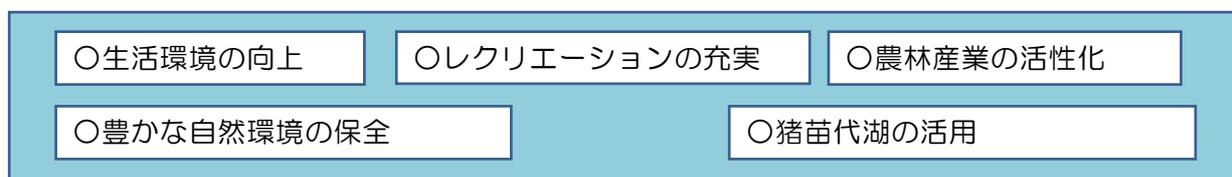
地区名	主な意見
湊地区	○山に囲まれた盆地の景観、猪苗代湖など、豊かな自然に囲まれた地区である。 ○会津レクリエーション公園など、自然を活かした観光資源があり、その適切な維持管理を行いながら、活用について考えていくことが必要である。 ○高齢化、少子化により地域コミュニティの維持が課題となっている。 ○道路が狭く、観光関連の交通が生活道路に進入している。 ○冬季に多発する交通事故の対策が必要である。 ○公園が不足するところが見られる。 ○公共交通の利便性が低い。 ○農林業以外の産業の誘致が必要である。 ○上下水道の整備など生活環境の向上が求められている。

(3)地域の将来像

地域の現状と課題、いただいたご意見から、H地域のまちづくりを考える上での「キーワード」として以下のものがあげられます。

これらのキーワードを踏まえ、H地域は、豊かな自然の恵みを暮らしに活かして、住み続けられるまちを目指すこととし、地域の将来像を以下のとおり設定します。

【キーワード】



【地域の将来像】



**山・里・湖のあふれる自然資源の魅力で交流し、
コミュニティが息づくまちをつくる**

(4)まちづくりの目標

①豊かな自然と共生した活力ある暮らしを推進する

豊かな自然環境を財産として次世代に引き継ぎながら、生活環境の向上や、地域コミュニティの活性化を図り、住みやすい活力ある暮らしを形成します。

②猪苗代湖をはじめとする美しい自然の保全と活用を図る

地域のシンボルとなる猪苗代湖の環境の保全を推進するとともに、湖水にふれあう空間を創出しながら、観光資源としての活用を推進します。また、自然の中でのレクリエーションなどによる憩いや交流の場としての活用を図ります。

(5)地域別方針

1)都市機能の方針

- 農業のブランド化や付加価値の高い地場産業の育成を支援し、地域産業の活力を高める取り組みを推進します。
- 地区のコミュニティ拠点として、公民館等の機能の充実を図り、地域のコミュニティ活動の活性化を推進します。
- 既存集落単位での活力の維持・向上を図るため、都市と田園地域等が連携し共生する取り組みを検討します。
- 公共交通の利便性向上、利用増進に向けた取り組みについて、地域住民、事業者など地域ぐるみで検討を進めます。

2)土地利用の方針

- 地域の歴史や自然などの地域資源を活かした観光拠点づくりやグリーンツーリズムを推進し、賑わいのある地域づくりを進めます。
- 農村集落地は、田園風景との調和を継続していくとともに、集落としての活力を将来的にも維持していくための土地利用を推進します。
- 猪苗代湖畔における湖畔観光ゾーンの形成を推進するとともに、水辺と山並みが調和する景観の保全を推進します。

3)都市施設の方針

- 地域内交通の安全性と快適性を確保するため、歩行者と自動車が分離する人に優しい道路整備を推進します。
- 道路などの都市施設の整備にあたっては、バリアフリーを基本として整備を推進します。
- 背灸山公園を中心とした自然体験ゾーンの形成や、風力発電による再生可能エネルギー施設と連携した地域の活性化を検討します。
- 会津レクリエーション公園の機能を活かし、地域住民や来訪者等の憩いと交流の場として利活用の充実を図ります。
- 農業集落排水施設の接続率の向上や浄化槽の設置を推進し、生活環境の向上と自然環境への負荷の軽減を図ります。
- 既存の消融雪施設を有効に活用するとともに、地域との連携のもと、除雪の充実を図りながら、冬期間における生活環境の向上を推進します。
- 地域間連携の強化や生活利便性の向上を図るため、中心市街地や周辺地域とのアクセス性の強化を推進するための取り組みを検討します。

4)都市環境の方針

- 快適で安全な生活環境を保全するため、生活道路の整備や、住民をはじめ地域ぐるみによる防犯灯の設置などを進め、夜間でも安心して暮らせる地域づくりを推進します。
- 簡易水道の適正な維持管理を継続しながら、衛生的で安全な水を供給するとともに、地域に合った飲料水の供給体制の構築を推進します。
- 自然環境を保全しながら、生活の利便性の向上、生活道路の整備、防犯対策の推進などにより、住みたいと思える良好な住環境を形成します。
- 自然環境との調和を図りながら、優良な農地の保全を支援していく体制づくりを推進します。
- 赤井谷地の保全を図りながら、自然体験学習などの活用に必要な整備を推進します。
- 猪苗代湖畔における湖畔観光ゾーンの形成を推進するとともに、水辺と山並みが調和する景観の保全を推進します。

5)都市防災の方針

- 公共施設や学校、公園などを避難場所として活用するとともに、避難路の安全対策を図りながら、災害に強いまちづくりを推進します。
- 集落における防災性の向上を図るため、木造住宅の耐震診断の促進を図るとともに、狭小道路等の解消を推進しながら、新耐震基準以前に建てられた建築物を中心に耐震化を促進していきます。

■H地域(湊地区)方針図

